

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

■開催日時 平成30年5月12日（土） 14時～15時30分

■開催場所 新木近隣センター

■参加者 30名

■市出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他9人

■懇談要旨

市 民：防犯カメラの事業について伺います。1基増やすのにどのくらいの費用がかかるのか、また、今後増やしていく計画はあるのか教えてください。

市 長：防犯カメラにつきましては、ある一定以上の機能のある機器を取り付けています。既存のポールへの設置で費用は約30万円、ポールも込みにすると約40万円かかります。市では設置する際には警察と協議して、設置場所の優先順位やカメラの向きなど決定しております。

また、各自治会が設置する際には1/2の補助がありますので利用してください。

市 民：災害予防関連で先日配られました、ハザードマップ改訂版についてです。

中を見ますと我孫子直下型と書いてありますが、その出典は何なのか。国・県では千葉県の北西部での直下型の震源は船橋から津田沼にかけてという表現です。

もう一点は、震度についてですが、震度は6強以上とありその後、震度6.3以上はありませんと書いてあります。矛盾していませんか。

最後にあびバスについてです。新木駅北口停留所から湖北地区公民館までの間、全く止まらないのではなくて、1・2か所停留所を作ってほしい。

市民生活部長：ハザードマップは、日本のどこでも起こり得る直下の地震を想定しています。我孫子には活断層が無いと言われていますが、正確には見つからないという言い方が正しいと思います。ハザードマップでは、我孫子市の下にあるかもしれない未確認の活断層を震源とした場合を想定しています。

震度についてですが、一般的にテレビなどでいわれる震度6強というのは、計測震度6～6.4ですがその中で計測震度6.3以上はありませんということです。震度階級と計測震度の違いからこのような表記となっています。

市長：我孫子市に一番影響があるのは、茨城県南部地震を中心に考えています。

首都直下型の地震では、帰宅困難者といったことが対策として必要と考えています。

我孫子直下型ということにつきましては、地震や津波等の研究をしている電力中央研究所によりますと現在のところ、断層が見つかっていないだけで、ないとは言えないということから、我孫子直下型を想定したものです。

あびバスにつきましては、運行経路によっては阪東バスとダブる路線があります。毎年ルートや停留所などの要望や現状をバス会社・タクシー会社と話し合う為に、交通協議会を開催しております。最終的には国（国交省）の許可を取ることとなります。今回の要望も協議の場に地元要望として、出させていただきます。

市民：新木駅の北口方面の将来ビジョンはどのように考えていますか、お聞かせください。

また、LED化を進めていますが、先日防犯パトロールをしましたところ、これまでチカチカしていた箇所も非常によくなりました。

市長：新木駅の改修が終わり改修目的は駅利用者の利便性のためですが、北側から南側に行きやすくなったことも良かったと思います。北口には、駅に通じる道沿いに民家があることから、なかなか難しく明るい見通しが立たないのが実情です。

LED化につきましては、20～30世帯の小さな自治会が予算的に難しく対応できない状況があるようです。今後なかなか進まなかった場合は、別の方法を考えなければと思います。LED街路灯の移管につきましては、毎年9月を期限とさせていただきます、翌年度から市の管理といたします。まだの自治会がありましたら、今後LED化を進めていただきますようお願いいたします。

市 民：ふるさと納税について我孫子市の実態と状況を教えてください。

企画財政部長：ふるさと納税の制度は平成20年度からあります。我孫子市では平成27年10月からインターネットでできるようにしました。納税額はそれまで最高100万円くらいでしたが、27年度1,000万円、28年度840万円、29年度740万円の納税がありました。一方我孫子市民が他市に納税し住民税の減税となった額が、27年度1,200万円、28年度6,700万円、29年度1億2,000万円でした。納税額より減税額が上回っています。国の方では、返礼品の過当競争になっていることから、返礼品の額を30%以内まで、市内の場合、返礼品を送らないなどといった、ルールが出来ました。我孫子市の場合は当初から返礼品は30%以内としていました。また、返礼品についてはふるさと産品を中心にお礼品を提供していましたが、それだけだと寄付が集まりにくいので最近では手賀沼花火大会の招待をプレゼントしたり、昨年からは栈敷席にしたり、NECの協力でグリーンロケットの選手でオリンピック出場選手サイン入りグッズをプレゼントしたり、目につくものなど工夫してきております。今年については、手賀沼エコマラソンの出走権等予定しております。

市 長：ふるさと納税は、地方にとっては良い制度となっておりますが、大都市周辺にとっては、ダメージが大きいです。我孫子市でも昨年度は約1億円の減収となっております。これはその地域に関連があるわけではなく、返礼品目的で納税する方が多いためです。現状としましては、納税という主旨とは、かけ離れたものとなっております。

市 民：成田線沿いの下新木踏切から湖北に向かったの市の土地について、駐車場や家庭菜園などに使っている人がいますが、市が許可を出しているのか。

新木駅南口の広場にある未利用のタクシープール用地につきまして、ベンチなど置かせていただけないでしょうか。もちろん使用する際には撤去いたします。

企画財政部長：許可なく使用しているのは承知しています。当初は、ゴミステーション用地や、行政サービスセンター関係の駐車場などに利用していました。きちんと自治会さんと話し合った上で、対応していきたいと思います。基本的には公共の利用になると考えています。

建設部長：タクシープールの件につきましては、確かに現在利用されていないので、道路課と協議して回答させていただきます。

市 民：放射能対策について、原発から7年ほど経過していますが、こんなに予算を使うんですか。

市 長：放射能対策の予算のほとんどはクリーンセンターのゴミ処分費用です。東葛地域全域での傾向ですが、放射線部質で汚染されている物の処分の受け入れ先が少なく金額も上がっています。焼却することで濃縮され汚染度が上がってしまうと受け入れ先がさらに少なくなるため、低数値にして処分していますが、そのために処分量は多くなります。放射能関連の経費は、まず、国に請求し支払われますが、全額でないことから残りの差額分を東京電力に請求してほぼ支払われています。市としては立て替えて支払っているような状況です。

市 民：今の話ですとこの地区は今現在でも放射能の影響があるのですか。

環境経済部長：放射能が含まれている主なものは、剪定枝木や草を刈ったときに付いてくる土に含まれています。昨年では、高い時で500ベクレル、低い時で36ベクレルありました。まだまだ土には含まれているということです。ただこの500ベクレルで健康被害があるのかというとその心配はありません。

市 民：それと、もっと安全なんだというPRをした方がいいんじゃないかと思いますが。受け入れ先にも、もっとワークすればいいと思います。

市長：それは現実がそうではなく、受け入れ先の自治体が国の基準の8,000ベクレル以下ならいいということではなく、独自の基準を設けて、例えば2,000ベクレル以下でないとは受け入れないなどとしていることから、濃度が高くならないように我孫子市では焼却する分を調整しながら排出しています。もう少し草木の分別にもご協力をお願いします。

市民：終末処理場に積んであった汚染物はどこに持って行ったのか。

市長：松戸・柏・流山は、新しい焼却施設のため我孫子よりもっと濃縮されるため濃度が高くなっていたことから、保管期限が過ぎてからは各市が持ち帰って保管しています。我孫子は濃度が当初から1,000ベクレル程度でしたので処分できています。現在処理場にあるのは、下水道の汚泥だけで、建物の中で保管しています。

市民：見守りネットワークのことについてですが、新木地区ではニーズが高いのが、買い物、次に通院です。あびバスを運行してもらったり、駅にエスカレーターを設置など要望してきました。移動支援サービスについて有志を集めて検討会をするようになっていますが、ネットワーク自体がこのサービス中に事故が起きたらなど問題がありまして積極的ではありません。市の方で良い意見などありましたら、教えてほしい。

市長：確かに高齢化が進んでいるため、新木以外の地区でも少しずつ独居が増えています。免許証の自主返納も増えて移動手段についても課題となると思っています。見守る方法も含めて、社協や市の福祉部門と協議していかなければと思っています。

市民：学校での人間関係について、他で聞いた話ですが先生と生徒間や先生と保護者間でのパワハラなどがあると言われている、我孫子市も施設の整備だけでなく、人間関係も充実してもらいたい。

市長：学校の施設の整備を義務付けられているのが市です。先生は県の職員になります。ただ、学校訪問をしたりしていますので、学校での情報は入ってきています。問題があればその情報は教育長に伝えて学校に直してもらおうようお願いしています。

市民：通学路についてですが、県営住宅から吾妻台の下、クリーンセンターに向かう道路がものすごく荒れています。早急に舗装し直しするなど安全にしてください。

建設部長：ご指摘の場所を、道路課に指示して現地確認させ穴埋めなど手当したいと思います。

市民：穴埋めなどはこれまで何度もしてきたので、舗装し直しでお願いしたい。

建設部長：要望は市内各所からあります。まずは現地を見た上で対応したいと思います。